



▲緊張、緊張でカチカチ（鏡石中学校）

期待に胸膨らませ

4月6日（木）町内の小、中学校で入学式が行われました。

晴れの制服、大きなランドセル。新一年生の表情は自信に満ちあふれ、そのまなざしは真っ直ぐ前を見据えています。

復興、そしてその先の未来へ。次代を担う子どもたちが今、新たな一步を踏み出しました。



いっぱいの風船に囲まれて（第一小学校）



▲大きな声で ハイ！（第二小学校）

かがみい 議会だより

No. 164

平成29年5月

発行 福島県鏡石町議会
編集 議会広報編集委員会
〒989-0407 福島県岩瀬郡鏡石町 不時沼345
電話 0248(62) 2110
印刷 (南) 永山印刷

町民の声

「ふれあいいきいきサロン」

地域住民の「居場所」と「要場所」づくり

久来石区 相 樂 榮 子



(さがら えいこ) さん
相 樂 榮 子

鏡石町の皆様、「誰もが安心して暮らしていけるようなまちづくり」をめざしましょう。「地域福祉は福祉教育ではじまり、福祉教育で終わる。」と先人たちは語り継いできました。最初の福祉教育は、「啓発や広報」であり、後半の福祉教育とは、地域福祉は地域福祉を推進する一人ひとりの主体形成のことを言っています。町民の一人ひとりがそうした意識を高めていくことで、地域社会の福祉観を変えていくことができると思っています。鏡石町では、現在6行政区で「ふれあいいきいきサロン」を実施していま

す。準備、片付けは互いに助け合い協力し、今ではすっかり地域に根付き、毎回、ゲーム、カラオケ、おしゃべり、学びの場であったりと計画的に行い、「お互い様」と感謝しあえるような、豊かな人間関係となつていっています。私、ここで提言させていただきます。0歳から百歳までの誰もが気軽に交流できる場「いきいきサロン」を各行政区に於いて開設できますように当たつては、町社協に申請し助成が受けられます。先ずは無理のない範囲内で実施すれば継続可能かと思っています。久来石区民もサロンに取り組みましよう。高齢者にとつては、種々困難が生ずることと思いますが、実施しながらクリアしていきましょう。どうしても無理な点については、ご負担になると思いますが、



さろん「てんさくせんたー」（鏡田区）

町政にて取りあげ、支援していただきたくよろしくお願いいたします。次に、久来石区の町道についてですが、凸凹が激しく、雨の日、歩行者は泥水を浴び、安心して歩けません。車は中央を走行している状態です。大型車走行時には、激しい振動となつています。警沢は言いません。窪みの部分のみの修理だけでもお願いできないでしょうか。久来石区民が安心して住み続けられる環境にしたいので、よろしくお願いします。

前号の町民の声で子どもの遊び・交流の場「屋内施設」の設置のご意見が寄せられたため、産業厚生常任委員会では、3月9日（木）所管事務調査で議題として取り上げ、児童館を現地調査しました。これからも、町民の声にこたえる「開かれた議会」を目指します。



産業厚生常任委員会視察 児童館

「町民の声」

にこたえて

編集後記

今年度は、鏡石町第5次総合計画の後期計画の初年度であり、町制施行55周年の記念すべき年でもあります。

これら重要な時期にあたり、執行、議会の力量が問われる年でもあります。

二元性代表者としての議会の一員として、執行機関の行財政運営等が、適法、適正、公平、効率的、民主的になされているかどうかを住民の立場に立って監視していき、より良い鏡石町にしたいと思っています。

町民の皆様も、以前にも増して議会傍聴においていただき、忌憚のない意見を賜りますよう、議会一同お待ち申し上げます。

発行責任者 議長 渡辺 定己
広報編集委員長 小林 政次
委員長 木原 秀男
委員 橋本 喜一
委員 古川 文雄
委員 菊地 洋
委員 長田 守弘